

ファンドマネージャーの眼

ファンドマネージャー独自の視点で市況を分析



『回り合わせ（まわりあわせ）』

2016年12月2日

債券運用部

先週、東京で初雪が降りました。11月に都心で雪が降るのは、54年ぶりのようですが、寒さが厳しいなかでもその日は年末ジャンボ宝くじの発売初日とあって、有名な東京・西銀座にある宝くじ発売所の一番窓口には、早朝から宝くじを買うために行列が出来たそうです。

宝くじの発売元である全国自治宝くじ事務協議会が毎年発表する「宝くじ長者白書」というものがあります。宝くじで1,000万円以上の当せん金を受け取った高額当せん者（数字選択式宝くじでの当せん者を除く）を対象にアンケートを行い、そのうち回答があった人の結果をまとめたものです。その中で、当せん者を星座別にまとめています。

直近10年間分の星座別の当せん者をまとめてみると、

年度	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年	2006年
1位	みずがめ座	みずがめ座	みずがめ座	てんびん座	みずがめ座	しし座	かに座	やぎ座	みずがめ座	みずがめ座
2位	やぎ座	おうし座	おうし座	みずがめ座	やぎ座	みずがめ座	みずがめ座	おとめ座	しし座	おひつじ座
3位	うお座	さそり座	やぎ座	おうし座	しし座	やぎ座	うお座	しし座	いて座	うお座
ワースト	しし座	かに座	いて座	さそり座	ふたご座	いて座	ふたご座・ てんびん座	いて座	ふたご座	ふたご座

（出所：全国自治宝くじ事務協議会）

10年間のうち、みずがめ座は1位が6回、2位が3回となっており、この法則が今年も続くのであれば、みずがめ座の人は宝くじを買ってみる価値があるかも知れません。

宝くじとは全く違いますが、星座にまつわる統計に、東京商工リサーチ発表の倒産した企業の社長の「星座分析」調査があります。これは、東京商工リサーチが保有する企業データベースから、2000年1月1日～2016年5月20日に倒産（負債額1,000万円以上）した企業で、社長の生年月日が判明した11万6,505件を分析したものです。

倒産社長の星座

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位
みずがめ座	うお座	やぎ座	おひつじ座	てんびん座	おとめ座	しし座	さそり座	いて座	かに座	おうし座	ふたご座

（出所：東京商工リサーチ）

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、あくまで情報提供を目的としたものであり、一部主観及び意見が含まれています。最終的な投資判断は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、ファンドマネージャー等の実際の運用等に何ら制限を加えるものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

みずがめ座の人は、今度はがっかりしたでしょうか。自分の働いている会社の社長の星座について、確かめてみてはいかがでしょう。ただ、倒産した社長の星座はみずがめ座が一番多いものの、設立から倒産までの期間も比較的長く、倒産時の平均年齢も高いことから、「粘り強さ」や「我慢強さ」も見られると分析されています。

このような合理的に説明が出来ない事象などのことをアノマリーといい、相場の世界にもたくさんのアノマリーが存在します。夏枯れ相場、Sell in May（株は5月に売れ）、ジブリの法則（スタジオジブリの作品が日本テレビ系列の「金曜ロードSHOW!」で放映されると、マーケットが荒れる）、サザエさんの視聴率と株価は連動する、など、挙げればきりがありません。星座以外に干支にもアノマリーはあり、年末ですので来年の相場を確認してみます。

十二支別日経平均株価騰落率（1949年～2016年）

干支	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
年間平均騰落率 (%)	23.8%	-6.3%	1.8%	16.4%	28.0%	13.4%	-5.0%	7.9%	8.1%	15.0%	9.8%	16.2%
相場格言	子は繁栄	丑はつまずき	寅千里を走り	卯は跳ねる	辰巳天井		午尻下がり	未辛抱	申酉騒ぐ		戌は笑い	亥固まる

※2016年は11月30日までの騰落率、1949年は取引再開日（5月16日）と年末の比較

（日経平均プロフィール等より岡三アセットマネジメント作成）

来年の干支にあたる酉年は、過去5回のうち4回がプラスのパフォーマンスとなっています。2回が40%前後の騰落率となっている一方で、残り2回は10%未満となっており、「申酉騒ぐ」の格言通り、激しい値動きの年ともいえます。2017年についても、大きく上昇する局面があるかも知れません。みなさんは、どんな相場を想定されていますでしょうか。

蛇足になりますが、筆者の星座はみずがめ座です。来年がいい意味での当たり年になるように願っています。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、あくまで情報提供を目的としたものであり、一部主観及び意見が含まれています。最終的な投資判断は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、ファンドマネージャー等の実際の運用等に何ら制限を加えるものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。